香港株式市場フラッシュ

経済再開を見据える市場、mRNA ワクチン接種に向けた動きも

リサーチ部　笹木和弘
Tel: 03-3666-6980
E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2022 年 12 月 28 日号（12 月 28 日作成）

”香港株の昨年末来騰落率上位10銘柄の直近での順位変遷“

香港ハンセン指数またはハンセンテック指数を構成する95銘柄について、27日終値での昨年末来騰落率の上位10銘柄は、**中国神華能源（1088/HK）**や**中国海洋石油（883/HK）**といったエネルギー関連国営企業、**チャイナ・ユニコム（762/HK）**や**チャイナ・モバイル（941/HK）**といった国営通信企業が高配当利回りを武器に安定して上位を占めている。その一方、中国が厳しいゼロコロナ政策を採っていた時期からオンライン旅行予約サイトの**トリップドットコムグループ（9961/HK）**、マカオでカジノを運営する**サンズ・チャイナ（1928/HK）**や**ギャラクシー・エンターテイメント（27/HK）**は既にゼロコロナ政策の緩和前から買われる傾向にあった。直近では人気火鍋料理チェーンの**ハイディラオ（6862/HK）**も買われており、ゼロコロナ政策緩和後の新型コロナ感染拡大の混乱の下でもその傾向に変化は見られないようだ。市場は既に感染拡大が落ち着いた後の経済活動再開を織り込みつつあると言えそうだ。

2021年末来騰落率・上位10銘柄（12/27終値）	銘柄コード	騰落率（%）	ハンセン指数またはハンセンテック指数構成95銘柄（12/27現在）における各日付ごと昨年末来騰落率の順位					
			12/27	12/13	11/15	10/18	9/20	8/23
携程旅行網［トリップドットコムグループ］	9961	45.3	1	2	4	10	12	11
中国聯通　［チャイナ・ユニコム］	762	38.9	2	7	19	17	21	22
中国神華能源［ﾁｬｲﾅ･ｼｪﾝﾌｧ･ｴﾅｼﾞｰ］	1088	38.8	3	3	2	1	1	1
金沙中国　［サンズ・チャイナ］	1928	37.7	4	1	10	23	17	40
中国海洋石油　［CNOOC］	883	30.7	5	4	1	2	2	2
海底撈（Haidilao International Holding Ltd）	6862	28.5	6	10	24	37	40	30
銀河娯楽　［ギャラクシー・エンターテインメント］	27	26.6	7	8	8	8	9	12
Budweiser Brewing Co APAC Ltd	1876	22.2	8	9	16	20	8	9
中国移動　［チャイナモバイル］	941	21.4	9	11	6	3	4	4
新鴻基地産発展［サンフンカイ・プロパティーズ］	16	18.5	10	12	17	16	20	25

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

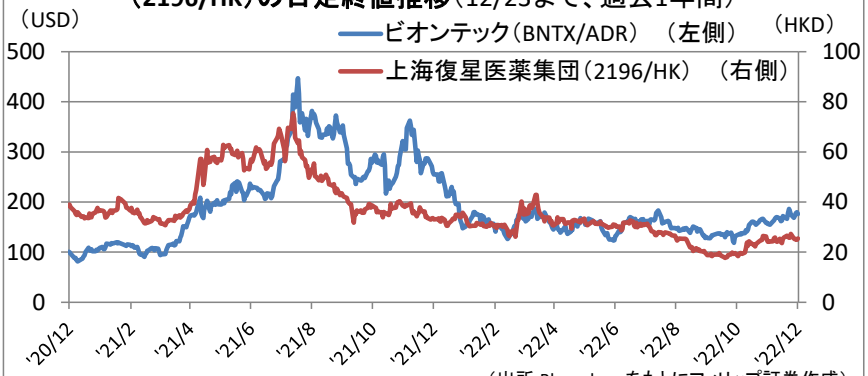
”中国本土のmRNAワクチン接種へ外堀を埋める動きも“

バイオ企業の独**ビオンテック**（BNTX）は、同社製m（メッセンジャー）RNA型の新型コロナワクチンを中国に滞在するドイツ国民向けに発送し、21日に到着したと発表。外国製コロナワクチンが中国本土に供給されるのが初めてとなるなか、中国製薬大手の**上海復星医薬集団[ｼｬﾝﾊｲ･ﾌｫｻﾝ･ﾌｧｰﾏｽｰﾃｨｶﾙ]（2196/HK）**はビオンテックに出資もしており、mRNAワクチンの大中華圏への販売権を既に有している。

香港政府はビオンテックと上海復星医薬が共同開発したmRNA新型コロナワクチン「復必泰（コミナティ）」のオミクロン変異株対応製品について4回目接種時（コロナに感染し回復した人は3回目）の選択肢の1つとして12月より実際の接種を開始。

上海復星医薬の22年1-9月期決算（中国会計基準）は、売上高が前年同期比17％増316.10億元、保有ビオンテック株の評価損など非経常損益を除く純利益が同16％増の28.59億元。中国本土で中国人に対してmRNA型ワクチン接種が認可されるとした場合、「復必泰」の採用が有力候補となる可能性が高いと見受けられる。

独ビオンテック（BNTX/ADR株式）と上海復星医薬集団（2196/HK）の日足終値推移（12/23まで、過去1年間）



（出所:Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄（全95銘柄）における終値の2021年末来騰落率

前回基準日：20221213　　基準日：20221227

順位	2021年末来騰落率・上位10銘柄	（%）	前回順位
1	携程旅行網［トリップドットコムグループ］	45.3	2
2	中国聯通　［チャイナ・ユニコム］	38.9	7
3	中国神華能源［ﾁｬｲﾅ･ｼｪﾝﾌｧ･ｴﾅｼﾞｰ］	38.8	3
4	金沙中国　［サンズ・チャイナ］	37.7	1
5	中国海洋石油　［CNOOC］	30.7	4
6	Haidilao International Holdi（海底撈）	28.5	10
7	銀河娯楽　［ギャラクシー・エンターテインメント］	26.6	8
8	Budweiser Brewing Co APAC Lt	22.2	9
9	中国移動　［チャイナモバイル］	21.4	11
10	新鴻基地産発展［サンフンカイ・プロパティーズ］	18.5	12

順位	2021年末来騰落率・下位10銘柄	（%）	前回順位
95	小鵬汽車	−77.6	95
94	舜宇光学科技（集団）［サニーオプチカル・テクノロジ・	−62.7	94
93	SenseTime Group Inc（商湯集団）	−60.7	91
92	碧桂園控股　［カントリー・ガーデン・ホールディングス	−60.3	93
91	Ming Yuan Cloud Group Holdin（明源雲）	−58.8	90
90	CG SERVICES（碧桂園服務）	−57.9	89
89	万国数拠服務［GDSホールディングス］	−57.4	92
88	ビリビリ	−48.1	88
87	瑞声科技[AACﾃｸﾉﾛｼﾞｰｽﾞ･ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ]	−45.1	86
86	吉利汽車控股[ジーリー・オートモービル・HDS]	−44.5	85

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

【2022年11−12月中国主要経済指標】

●12月15日（木）
・11月小売売上高<前年同月比>：前回▲0.5％、結果▲5.9％
・11月鉱工業生産<前年同月比>：前回＋5.0％、結果＋2.2％
・1-11月固定資産投資<前年同月比>：前回＋5.8％、結果＋5.3％
・1-11月不動産投資<前年同月比>：前回▲8.8％、結果▲9.8％
・11月住宅販売金額＜前年同月比＞：前回▲28.2％、結果▲28.4％
・11月新築住宅価格<前月比>：前回▲0.37％、結果▲0.25％

●12月20日（火）
・1年ローン・プライムレート：前回3.65％、結果3.65％
・5年ローン・プライムレート：前回4.30％、結果4.30％

●12月27日（火）
・1-11月工業利益：前回▲3.0％、結果▲3.6％

●12月31日（土）
・12月製造業購買担当者景気指数（PMI）：前回48.0
・12月非製造業購買担当者景気指数（PMI）：前回46.7

●1月3日（火）
・12月（財新）製造業購買担当者景気指数（PMI）：前回49.4

●1月5日（木）
・12月（財新）ｻｰﾋﾞｽ部門PMI：前回46.7
・12月貿易収支：前回＋698.4億USD
・12月輸出<前年同月比>：前回▲8.7％
・12月輸入<前年同月比>：前回▲10.6％

●1月7日（土）
・12月外貨準備高：前回3.117兆USD

●1月9日（月）
・12月消費者物価指数（CPI）<前年同月比>：前回＋1.6％
・12月生産者物価指数（PPI）<前年同月比>：前回▲1.3％

●1月9日（月）-15日（日）
・12月資金調達総額：前回1.990兆元
・12月新規人民元建て融資：前回1.210兆元
・12月マネーサプライM2<前年同月比>：前回＋12.4％

（出所：Bloombergをもとにフィリップ証券作成）

【レポートにおける免責・注意事項】
本レポートの発行元：フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町 4 番 2 号
TEL:03-3666-2101　　URL：http://www.phillip.co.jp/
本レポートの作成者：公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。
＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項＞
・ 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。